

「上田の家」工事中

施工: 矢島工務店



猛暑の中の上棟式も無事に終わり、室内の造作に入りました。シンプルな架構の力強さと、内部空間の広がりを感じる家です。大工棟梁の羽生田さんが毎日こつこつと作業を進めてくれています。子供達も首を長くして完成を待っています。

「越美文化研究所」工事中

施工: 澤崎建設

岐阜県白鳥の「越美文化研究所」の工事が進んでいます。16間もの長さの建物が、まるで港から船出する船のようです。10月26日に完成内覧会の予定です。皆さんのお越しをお待ちしています。



「善福寺の家・Ⅱ」着工

施工: 渡辺工務店



地鎮祭を済ませて着工しました。丈夫な家作りを目指して、慎重に工事を進めています。柱状改良という地盤改良を行いました。上棟間近です！



「下連雀の家」着工

大変お待たせしました。ブラッシュアップ後の見積りに時間をかけましたが、横田木材工務部の努力で前進することができました。下小屋には、すばらしい檜の柱も入り、渡辺棟梁の監修のもと、一同張り切って刻みにかかっています。



「江原の家」見積中

見積りに入りました。来年早々の着工を目指しています。事務所の近所にある友達の家で、娘さんと二世帯住宅です。敷地の東側が公園に面しているので、建物の姿が良く見えます。



「清瀬の家」実施設計

規模の大きな二世帯住宅です。来年3月には着工したいと思います。ただいま実施図面の製作中です。木組によるモダンズムを目指して、快適な空間構成を心がけていきます。ご期待ください！



「小竹の家」設計契約

設計契約をしました。住宅地の中に建つ都市型の住宅です。コンパクトな間取りの中にも大らかな広がりのある空間づくりを目指しています。せがい造りで空間を使い切った、無駄のない架構です。



「橋本の家」基本設計

推敲を重ねています。何案かの検討を積み上げていくうちに少しずつ生活の実態が見えてきました。日当たりの良い敷地に建つ三世帯住宅です。さらに推敲して家族の夢を乗せていきます。



株式会社

松井郁夫建築設計事務所
まちづくりデザイン室
165-0023
東京都中野区江原町1-46-12-102/203
TEL 03-3951-0703 FAX 03-5996-1370
URL: <http://matsui-ikuo.jp>
e-mail: ok@matsui-ikuo.jp



ごあいさつ

例年のない猛暑も少し和らぎははじめました。
みなさまいかがお過ごしでしょうか。

豊田の家が「住む。」に掲載されます

前回のニューズレター「コミネットN044」で特集いたしました「豊田の家」が季刊誌『住む。』に掲載されることになりました。

きっかけは建て主さんのブログを見た編集者の方が、建物の立ち上がってゆく様子を丹念に綴る家族の姿に興味を持たれたからと伺いました。建主さんは、徳島の伐採ツアーに参加されたり、毎朝、出勤前に現場に立ち寄って職人さんと挨拶をされたり本当に熱心な方です。最初にお会いしてから3年目に建物ができましたが、おなかにいた赤ちゃんも今では2歳のかわいい女の子になりました。現場に来ては鉋屑や木屑で遊ぶ姿に職人さん達の気分も和みました。

家族の幸せをいっぱい包み込んで、「豊田の家」は完成しました。ブログ「都会の雑木林」には、家づくりの経緯が楽しく書き込まれています。



宮原の家がついに完成いたしました

民家と数奇屋の両方の風情を持つ、平屋建ての広々とした家が出来上がりました。
 京都にお住まいの建て主さんは「終の棲家が欲しい」とうちを訪ねてこられ、地元宮原に戻って、ゆっくりとした生活が出来るようにと希望されました。
 学者さんのご主人の書斎と奥様の茶室がそろう、それぞれが楽しく暮らしていける家です。
 大勢の人を集めたいというコンセプトで人が集う大空間を松の梁を組んで実現しました。18畳大の居間は、大勢の人が集まっても窮屈に感じません。
 和室に通じる「鞘の間」の襖には、中国で購入された墨絵をアレンジしました。その襖を開ければ、家全体がワンルームとなるようになっています。
 和室の奥にはお茶会用の水屋が設けてあり、客人をおもてなしできるようになっています。
 引っ越されてからは、ご夫婦で庭づくりを楽しんでいらっしゃいます。緑が多い閑静な住宅地にふさわしい家が出来ました。どうぞ、これからの生活を楽しんでください。棟梁一同ご苦労様でした。



▲ 外観・居間(鞘の間)
 純和風平屋の外観。地域の人々と交流を図る大きな庭に囲まれた、のどかな風景になりました。鞘の間の襖には中国の水墨画を割付けました。
 ◀ 居間(大黒柱)・居間(玄関)
 大黒柱は檜の八寸材(240×240)です。玄関の建具は横棧の高さを抑えた落ち着いたデザインです。
 ▶ 茶室・軒下
 奥さんが茶事をするための茶室は、丸窓と違い、棚で風情を持たせながら、すっきりとした空間になりました。裏には水屋もあります。軒下に石を貼り、雨落ちを造ることで庭への視線を誘えました。(写真：奈良岡忠、松井事務所)

「宮原の家」			
家族構成	夫婦	施工	渡辺工務店
敷地面積	758.44㎡	山	TSウッド(徳島)
建築面積	176.33㎡		協和木材(福島)
延床面積	145.22㎡		

